

どうする？

南海トラフ地震

画像)
南海トラフ巨大地震発生条件付き地震ハザード
(計測震度 6.0 の条件付き超過確率)

南海トラフでは甚大な被害をもたらす巨大地震の発生が危惧されています。

本プロジェクトでは地震の活動を把握・予測し、社会を守る仕組みを作り、地域への情報発信による防災・減災への貢献を目指しています。

本シンポジウムではプロジェクト中間報告として、最新の研究トピックを紹介し、防災・減災への課題について議論します。

2023年

3/10 金

13:00-16:30
(開場は 12 時 30 分)

会場：イイノカンファレンスセンター Room A

東京都千代田区内幸町 2-1-1 飯野ビル 4 階

会場参加：100名 YouTube にてライブ配信

事前登録制

入場無料

●定員に達し次第締め切り●

お申し込みは

下記 URL または右記 QR コードから

<https://www.jamstec.go.jp/bosai-nankai/j/event/20230310/>

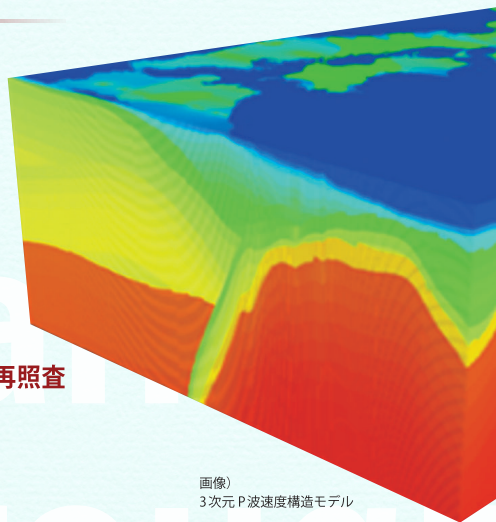
■お問い合わせ / 海洋研究開発機構 研究推進部

E-mail: nankai@jamstec.go.jp



講演内容

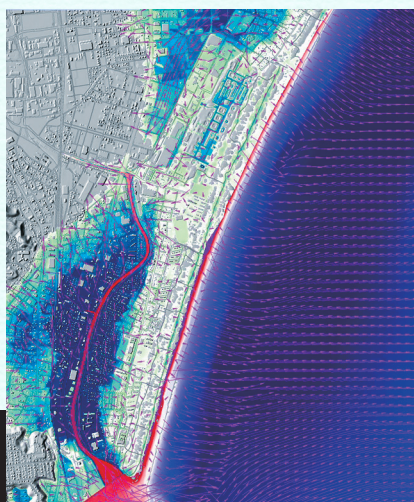
- ◆南海トラフ高精度地殻活動モニタリングの実現に向けて
防災科学技術研究所 汐見 勝彦
- ◆南海トラフでの通常と異なる現象後の推移予測に向けて
海洋研究開発機構 堀 高峰
- ◆南海トラフ巨大地震発生の多様性を考慮した地震防災基盤シミュレータの開発
防災科学技術研究所 中村 洋光
- ◆津波避難の困難度の評価システム「逃げトレ View」の開発
京都大学 矢守 克也
- ◆周波数特性・継続時間が異なる地震動を用いた軟弱地盤上に立地する河川堤防の耐震性再照査
名古屋大学 中井 健太郎
- ◆教育現場および地域コミュニティにおける防災教育を通じた人材育成手法の検討
香川大学 野々村 敦子



画像)
3次元P波速度構造モデル

コメンテーター

- 中川 和之 (時事通信社 解説委員)
- 山岡 耕春 (名古屋大学大学院 環境学研究科 附属地震火山研究センター 教授)
- 今村 文彦 (東北大学 災害科学国際研究所 所長 / 教授)
- 川崎 弘佳 (高知大学 教育学部 非常勤講師 / 元公立小学校 校長)
- 野本 稔浩 (香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携機構 特命教授)



画像)
延岡市の氾濫計算